



入学、進級おめでとうございます

第51回入学式・始業式を挙行し、令和7年度 13名の新入生を迎え、全校生徒37名が新たなスタートを切りました。

13名の新入生を迎えるにあたり

～入学式 校長式辞より抜粋～

13名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心より歓迎いたします。3年前、槻川小学校で1年間一緒に過ごした皆さんに転入生1名を加え、本日、中学生として迎えることができることをとてもうれしく思います。東秩父中学校は51年目を迎える伝統ある学校です。11月には記念式典も計画しています。伝統を受け継ぎ、自信と誇りを持って充実した中学校生活を送って欲しいと願っています。

そのために皆さんに願うことが三つあります。

一つ目は、「夢を持とう」です。

中学校生活における様々な活動は、その取り組みに応じて、すべて皆さんの将来につながると考えてよいと思います。その方向を見失わないためにも自分がかなえたい夢、理想とする自分の姿をイメージしてほしいと思います。

二つ目は、「自分を大切にしよう」です。

夢をかなえるため、理想の自分を実現するためには自分を変える努力、自分を高める努力が必要です。失敗を恐れず、自分の可能性を信じ、何事にも挑戦してみてください。

失敗してもやり直せるのが中学生。失敗をおそれ、取り組む前からあきらめることは、自分の可能性を拓ける機会、自分を成長させる機会を自ら手放すことになります。「自分を大切に」とは、消極的に自分を守るのではなく、積極的に自分を高める機会をつかんでほしいということです。

三つめは「他人を大切にしよう」です。

まずは、仲間を大切にしてください。人は他人を通して自分を受け入れると言われます。他人に対する思いやりのある行動は、感謝として自分に返ってきます。「ありがとう」という言葉はとても大きなエネルギーを持っています。仲間と協力する喜び、責任を果たす達成感に繋がります。自分のことしか考えられない「子ども」から、他人の立場や全体の利益を考え、頑張れる「大人」へと成長する道標（みちしるべ）となるはずです。

小さなころからずっと続いている友達同士ですが、改めて、認め合い、支え合い、高め合える仲間関係を築き、共に成長して欲しいと思います。

以上三つの願いを基に、本校の目指す生徒像は、村の宝である皆さんが、「磨き合い、輝き合う生徒～夢を持ち、自分も他人も大切にする生徒～」と設定しました。がんばりましょう。

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。後輩を導くことは、自分の成長を確かめる機会になるとともに自分の学びを深めるよい機会となります。学校の主役は皆さんです。学年が上がるほど、学校を創るという当事者意識、責任と自覚、そして誇りを持ってほしいと思います。我々職員は全力で支えます。

共に力を合わせ、よりよい学校を創りましょう。期待しています。

<入学式の一コマです>



<お世話になりました>

今年度当初の人事異動で転退職された職員及び転入職員を紹介します。なお、再任用職員や臨時的任用職員及び会計年度職員は年度毎に任期満了となりますが、本年度も本校に勤務する場合は継続と見なし、割愛させていただきます。

<転出>

教諭 ○○○○ ○○○○中学校へ
○○○○ ○○○○へ新採用
○○○○ 任期満了

事務主事 ○○○○ ○○○○小学校へ

非常勤講師 技術担当 ○○○○ 任期満了 家庭科担当 ○○○○ 任期満了

学習支援員 ○○○○ 任期満了

<転入>

教諭 ○○○○ ○○○○より

事務主事 ○○○○ ○○○○より

非常勤講師 技術 ○○○○ ○○○○より
家庭科 ○○○○ ○○○○より

学習支援員 ○○○○ ○○○○より

<復帰>

教諭 ○○○○ 養護教諭 ○○○○

<職員研修を実施しました>

「学校は家庭・地域から村の宝の子どもたちを預かっている」というコンセプトのもと、「食物アレルギー・給食における窒息防止について」「AED による心肺蘇生法などの救急対応」「特別支援教育の視点からのユニバーサルデザイン」などについて職員研修を行いました。前半は「子どもたちの命を預かる」ため、後半は「子どもたちの将来を預かる」と位置づけ、研修に励みました。



<よろしく願いいたします>

「好雪片々不落別所」昨年度に引き続き、村民校長としてお世話になることになりました。田端隆二と申します。微力ではございますが、「子どもは村の宝 子どもの成長は村民の願い」との言葉を真摯に受け止め、生徒と共に、職員と共に、保護者の方々と共に、そして、地域の方々と共に全力で学校経営に邁進してまいります。ご支援、よろしくお願いいたします。